

→ 1

コラボレーション学習 ゼミの総括



明治大学情報コミュニケーション学部3年
株式会社サイエンスハウス アルバイト
籠谷千裕 (ID No, 1810040278)

前期(4月～7月)、夏休み

- 私が5月からSHでアルバイトを始める。
- 6月に、飯箸講師より、SHとゼミのコラボレーション企画を行いたいとのメールをもらう。
- 7月に、飯箸ゼミの学生2名と、SH社員2名およびアルバイト3名とともに初顔合わせ。
- 夏休みはゼミ生とSHが直接活動できる時間がなかった。
- なので、SH側から、ゼミ生に夏休みの課題として、「祭りに行ってみること」「サイトのコンテンツを考えてくること」を課す。



後期(9月～現在)、今後

- XOOPS (Contents Management System) を使って作成することが決定となる。
- ゼミ生がゼミでコンテンツを考える。他のサイトとの差別化を考える。
- ゼミに私がたまにSH側として出席する。
- 最近流行のmixiや価格.comなどのサイトを参考に、人が集まるサイトにするにはどのようにすればいいかを練る。
- 今後、ゼミは解散となるが、作成したwebサイトはサーバーにアップロードし、ゼミ生やSHの人間だけでなく、誰でも閲覧できるようにする予定。



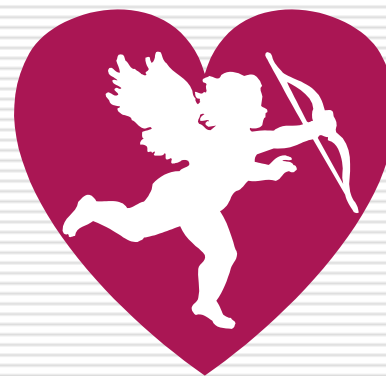
活動を通じて(プラスになった点)

- 多くの人数でひとつのサイトを作るにあたりいろいろなアイデアがコンテンツとしてできていくのを体験できた点。
- ゼミ生に、単にコンテンツを考えるだけでなく、ユーザーや運営者の立場も考えながらアイデアを出し合う姿勢が生まれた点。
- ゼミ生のアイデアを無にしないために、会社側としてもウェブの潮流などに敏感となりプロジェクトにあたった点。
- 私が「利益を出すためのアイデア」を出すという初めての体験をした点。



活動を通じて(今後の課題)

- SHの社員とゼミ生が直接話をしたのが最初の一回だけだったので、月1回は状況報告を兼ねたMTGを行うべき。
- サイト構築をローカルサーバーでのみ行ってきたため、ゼミ生にとってリアルタイムに出来上がっていく様子が分からなかったのはアイディア構築において非常にマイナスとなった。プロジェクトメンバーが常に作成中のサイトを見られるようにしておくべき。



ご清聴ありがとうございました。
